

国立病院機構 福山医療センター レジメン登録・管理表

レジメン名称	大腸癌 Encorafenib+Binimetinib+Cetuximab併用療法	
疾患名	大腸癌	
診療科名	外科	
登録医師名	宮宗 秀明	
適応	BRAF陽性かつ2次治療以降の切除不能進行再発大腸癌	

臨床区分

<input checked="" type="checkbox"/> 日常診療
<input type="checkbox"/> 単施設自主研究
<input type="checkbox"/> 他施設自主研究
<input type="checkbox"/> 市販後臨床研究
<input type="checkbox"/> 治験

抗癌剤適応分類

<input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発化学療法
<input type="checkbox"/> 術後化学療法
<input type="checkbox"/> 術前化学療法
<input type="checkbox"/> 局所療法
<input type="checkbox"/> その他

登録日	2021年3月3日
1クール期間	7日
実施回数	/回

Rp	薬品名称	標準投与量	単位	投与方法	ルート	投与時間	投与日								注意コメント	
							day1	-	-	-	-	-	-	-		-
1	レスタミンコーワ錠10mg	5	錠	経口			●	-	-	-	-	-	-	-	-	
2	生理食塩液	100	mL	点滴静注	メイン		●	-	-	-	-	-	-	-	-	血管確保用 ※開始から終了までECGモニターを装着すること
3	生理食塩液 デキサメタゾン注射液 6.6mg	100 1	mL 瓶	点滴静注	側管	30min	●	-	-	-	-	-	-	-	-	
4	生理食塩液 アービタックス注射液	300 400	mL mg/m2	点滴静注	側管	120min	●	-	-	-	-	-	-	-	-	2回目以降 250mg/m ² を60minで投与 2回目は生理食塩液250mLに混注 (予備容量: 140mL) ※濃度0.83~4mg/mLになるよう調製する。 7-ヒ ックが投与終了後、1時間は経過観察すること。 2回目以降は経過観察を省略可能
5	ピラフトピカプセル	300	mg	経口												1日1回連日投与
6	メクトピ錠	45	mg	経口												1日2回連日投与

備考欄

※医師はBRAF検査の実施年月日をカルテ掲示板に記載すること(診療報酬明細書に記載が必要のため)
 ※医師は3剤併用する理由(EOG PS, 転移臓器数, CRP値など)をカルテ掲示板に記載すること(診療報酬明細書に記載が必要のため)

文献

減量・中止基準

<Cetuximabの減量基準>
 Grade3以上の皮膚障害が現れた場合

Grade3以上の皮膚障害の発現回数	本剤の投与	本剤投与後の状態	本剤の用量調節
初回発現時	投与延期	Grade2以下に回復	250mg/m ² で投与継続
		回復せず	投与中止
2回目発現時	投与延期	Grade2以下に回復	200mg/m ² で投与継続
		回復せず	投与中止
3回目発現時	投与延期	Grade2以下に回復	150mg/m ² で投与継続
		回復せず	投与中止
4回目発現時	投与中止	-	-

<Encorafenib, Binimetinibの減量基準>
 減量して投与継続する場合の投与量

減量レベル	Encorafenib	Binimetinib
通常投与量	300mg 1日1回	45mg 1日2回
1段階減量	225mg 1日1回	30mg 1日2回
2段階減量	150mg 1日1回	15mg 1日2回
3段階減量	投与中止	投与中止